

柳西団地外壁・屋根改修工事 設計図

図面リスト

A-01

表紙

A-02

図面リスト・特記仕様書 1

A-03

特記仕様書 2

A-04

特記仕様書 3

A-05

付近見取図・配置図

A-06

仕上表

A-07

平面図・屋根伏図・建具リスト

A-08

立面図

A-09

天井伏図・建具表

A-10

矩計図・階段室詳細図

A-11

階段室展開図

A-12

部分詳細図

E-01

電気設備特記仕様書

E-02

電気設備 1・2階平面図

E-03

電気設備 3階平面図・屋根伏図

特記仕様書

I 工事概要

1. 工事件名

柳西団地外壁・屋根改修工事

2. 工事場所

南アルプス市 六科地内

3. 工事種目

建築主体工事（仮設、外壁改修、屋根防水改修、各部塗装改修、その他）

4. 工事内容

経年劣化に伴い、外壁塗装・屋上防水の改修を行い、市営団地の長寿命化を図る。
上記に伴う付帯工事を含む。（樋、雨て壁、手摺等）
外壁は外部足場設置後にクラック、浮き調査を行い報告書を提出する。
外壁クラック補修、浮き補修の実施数量は調査後、監督員と協議し決定する。
モルタル撤去に於いてアスベストが含有していた場合は、監督員と協議し決定する。
既存外壁塗装材料は事前調査によりアスベスト不検出。
既存軒天塗装材料は事前調査によりアスベストが検出される。
入居者が居住したままの工事となる為、安全対策及び工程調整等に注意をする。

5. 工事範囲

※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。
・「3. 工事種目」のうち各工事項目における工事範囲は下記表のとおりとする。ただし、その他の工事種目はすべて今回工事範囲とする。

| 工事種目 | 建築主体工事 | | | | |
|-------------------|--------|--|--|--|--|
| 2 仮設工事 | ○ | | | | |
| 3 防水改修工事 | ○ | | | | |
| 4 外壁改修工事 | | | | | |
| コンクリート打渡し仕上外壁 | | | | | |
| 外壁改修工事 | | | | | |
| モルタル塗り仕上外壁 | | | | | |
| 外壁改修工事 | | | | | |
| タイル張り仕上外壁 | | | | | |
| 外壁改修工事 | | | | | |
| 塗り仕上外壁 | ○ | | | | |
| 5 建具改修工事 | ○ | | | | |
| 6 内装改修工事 | | | | | |
| 7 塗装改修工事 | ○ | | | | |
| 8 耐震改修範囲以外の躯体改修工事 | | | | | |
| 耐震改修工事 | | | | | |
| 9 環境配慮改修工事 | ○ | | | | |
| | | | | | |

II 建築改修工事仕様

1. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」（以下「改修標仕」という。）により、また、改修標仕に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」（以下「標仕」という。）による。

2. 特記仕様

（1）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

（2）特記事項は、○印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と◎印の付いた場合は、ともに適用する。

（3）特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

（4）特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

（5）特記事項に記載の（別2- ）は、標仕の「別図2 ポルト開閉等及び滑接継手の開先形状」の該当項目を示す。

（6）☐印は「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）」の特定調達品目を示す。

章 項 目

① 一般共通事項

① 適用基準等

・建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修 最新版）
・工事写真の撮り方 建築編（建設大臣官房官庁営繕部監修 最新版）
・建築物解体工事共通仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 最新版）
※適用する [1.1.4]

3 品質計画等 [1.2.2]
・建築基準法に基づく風圧区分等を必要とする場合は次による。
※風速 WD=（ ）m/s（平12建告第146号第2）
※地表面粗度区分 ・Ⅰ ・Ⅱ ・Ⅲ ・Ⅳ
※積雪区分 平12建告第145号 別表（ ）
・

4 電気保安技術者 [1.3.3]
工事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の実務を行うものとする。
・要 ・不要

⑤ 施工条件 [1.3.5]
下記以外は現場説明書による。
・工用車両の駐車場所 ※図示 ○敷地内、監督員と協議による
・資機材置場 ※図示 ○敷地内、監督員と協議による
・建設発生土仮置場 ※図示
・ ※図示

⑥ 発生材の処理等 [1.3.8]
・発注者に引渡しを要するもの（ ・金属類 ・ ） [1.3.8]
○特別管理産業廃棄物（ ・廃石綿 ・POB含有物 ○外壁塗材 ） [1.3.8]
・現場において再利用を図るもの（ ） [1.3.8]
・再資源化を図るもの（ ） [1.3.8]
・POB含有シーリング材の処理
・第一次判定：現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及び分析の要否を判定する。
採取箇所数 計（ ）箇所
※図示
・第二次判定：専門分析機関にてPOB含有量の分析を行う。
分析箇所 計（ ）箇所
○除去処理工事
除去範囲 ※図示 ○足場設置後外壁調査により決定

⑦ 環境への配慮 [1.4.1]
化学物質を放散させる建築材料等
本工事の建物内部に使用する材料等は、設計図書に定める所要の品質及び性能を有するものとし、次の（1）から（5）を満たすものとする。
（1）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
（2）保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
（3）接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
（4）塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
（5）（1）、（3）及び（4）の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。
また、設計図書に定める「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする。
ホルムアルデヒド放散量 該当する材料
規制対象外
① JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品
② 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品
③ 下記表示のあるJIS規格品
a. 接着剤等不使用
b. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用
c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用
d. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用
e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
f. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
第三種
① JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品
② 建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品

⑧ 材料の品質等 [1.4.2]
本工事に使用する材料は、設計図書に定める所要の品質及び性能を有するものとし、JIS又はJASのマーク表示のない材料及びその製造者等は、次の（1）～（6）の事項を満たすものとする。
（1）品質及び性能に関する試験データが整備されていること
（2）生産施設及び品質の管理が適切に行われていること
（3）安定的な供給が可能であること
（4）法令等で定める許可、認可、認定、免許等を取得していること
（5）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること
（6）販売、保守等の営業体制が整えられていること
なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関（（社）公共建築協会等）が発行する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」の評価書等の写しを、監督職員に提出して承認を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承認を受けた場合は、この限りでない。
また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承認を受ける。
改修標仕及び標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

⑨ 特別な材料の工法 [1.5.2]
調査範囲及び調査方法 ※図示 ○外部足場設置後、目視、打診
既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ※図示 [1.5.3]

⑩ 施工数量調査 [1.5.3]

① 技能士 [1.6.2]
適用工事種別
防水改修工事
・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業
・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴムシート防水工事作業
○塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業
・シーリング防水工事作業
・改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業
・FRP防水工事作業
・左官作業 ・内外装板金作業
外壁改修工事
・左官作業 ・タイル張り作業 ○建築塗装作業
建具改修工事
・ビル用サッシ工事作業 ・ガラス工事作業
・自動ドア施工作業
内装改修工事
・プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーペット系床仕上げ作業
・ボード仕上げ工事作業 ・壁紙作業 ・大工工事作業
・鋼製下地工事作業 ・左官作業 ・タイル張り作業
塗装改修工事
・建築塗装作業
耐震改修工事
・鉄筋組立作業 ・型枠工事作業 ・コンクリート圧送工事作業
・構造物鉄工作業 ・とび作業
コンクリートブロック
・コンクリートブロック工事作業
・エーデルシーバネル工事作業
石工事
・石張り作業
補装工事
・造園工事作業
施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、報告する。
測定はバンプ型採取機器により行う。
着工前の測定 ・行う
測定対象室 ・図示 ・アリーナ
測定箇所数 ・図示 ・1ヶ所
報告の様式等については、現場説明書による。

12 化学物質の濃度測定 [1.6.9]
○完成図
○既存図面修正
※作成する
提出部数 ※各2部 ・部（A3版第2原図及び電子媒体（CD-R））
種類 ※改修標仕表1.8.1による。ただし、種類は当該工事で該当する図面、表及び計画書とする。
※施工計画書 提出部数 ※1部 ・部
※施工図 提出部数 ※1部 ・部
・保全に関する資料 提出部数 ※2部 ・部
14 設備工事との取合い
設備機器の位置、取合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。
15 設計 G/L ※図示 ・現況通り

② 仮設工事

① 足場その他 [2.2.1]
内部足場 種別 ※きやつ、足場板等 [2.2.1]
外部足場 種別 ※種 ・B種 ・C種 ・D種 [2.2.1]
防護シート ※設置する ・設置しない
材料、撤去材等の運搬方法 ・A種 ○B種 ・C種 ○D種 ○E種 [2.2.1]
② 既存部分の養生 [2.3.1]
既存部分の養生 ※ビニルシート等
既存家具等の養生 ※ビニルシート等
固定家具等の移動 ※行わない ・行う（図示）
3 仮設間仕切り [2.3.2]
仮設間仕切り等の種別 [2.3.2]
種 別 下 地 仕上材（厚さ mm） 充填材 塗 装
・A種 ※軽量鉄骨 ・合板（※9.0 ・ ） 厚さ mm ※なし
・B種 ・木下地 ※せつこボード（※9.5 ・ ） ※片面
※C種 単管下地 防炎シート
仮設扉 ※木製扉 ※合板張り程度 ※なし
・鋼製扉 ※片面フラッシュ程度 ・あり
※設ける
○構内に新設する（規模及び仕上げの程度は現場説明書による）
・既存建物内の一部を使用する
・設けない
構内既存の施設 ◎利用できない ・利用できる（※有償 ・無償）
構内既存の施設 ◎利用できない ・利用できる（※有償 ・無償）
④ 監督職員事務所 [2.4.1]
※設ける
○構内に新設する（規模及び仕上げの程度は現場説明書による）
・既存建物内の一部を使用する
・設けない
⑤ 工事用水
⑥ 工事用電力

③ 防水改修工事

① 既存防水層の処理 [3.2.3]
既存保護層（平場）の撤去 ・行う（範囲 ・図示 ○行わない ） [3.2.3]
既存防水層（平場）の撤去 ・行う（範囲 ・図示 ○行わない ） [3.2.4]
立上り部の防水層撤去 [3.3.1]
○行う（・POS（機械）・POSⅠ（機械）・MASⅠ ・行わない
・SAS（機械）・SASⅠ（機械）
露出防水層表面の仕上げ塗装除去
・行う（・MAS ・MASⅠ ・MAC ・MAOⅠ ・LAX） [3.2.6]
改修用ドレン
○設ける（・POAS ・POASⅠ ・POO ・POOⅠ ・POS ・POSⅠ ・POX）
アスファルト補修の材料 ※JIS K 2207による種 [3.2.2]
既存下地の補修箇所、範囲、数量等 ※図示 [3.2.6]
3 アスファルト防水 [3.2.2]
防水改修工法の種類 新規防水層の種別 施工箇所
・PIE工法 ・B-1 ※B-2
・PIBⅠ工法・TIBⅠ工法 ・BⅠ-1 ※BⅠ-2
・PIAⅠ工法 ・AⅠ-1 ※AⅠ-2
・PIAⅡ工法 ・A-1 ※A-2
・MAC工法 ・C-1 ※C-2
・KOD工法 ・D-1 ※D-2
・POOⅠ工法 ・KODⅠ工法 ・DⅠ-1 ※DⅠ-2
・MAOⅠ工法
屋内防水
・PIE工法 ・PIE工法
（保護層は図示による）
アスファルトの種類 ※3種 ・4種 [3.2.2]
M30、P00、P00Ⅰ、M30Ⅰ及びM40Ⅰ工法の脱気装置 ※設ける ・設けない [3.3.1]
断熱工法の断熱材 ※設ける ・設けない [3.3.2]
※押出法ポリスチレンフォーム3種bスチン層付き ☐厚さ（mm）※25
厚さ（mm）

4 改質アスファルトシート防水

⑤ 合成高分子系ルーフィングシート防水

防水改修工法の種類 新規防水層の種別 厚さ（mm） 施工箇所
・MASⅠ工法 ・AS-1 ・AS-2 ・AS-3
・MASⅡ工法 ・AS-4 ・AS-5 ・AS-6
・POASⅠ工法
・MASⅠⅠ工法 ・ASⅠ-1 ・ASⅠ-2
・MASⅠⅡ工法
・POASⅠⅡ工法
M3ASⅠ、M4ASⅠ及びP3ASⅠ工法の防護層 ・設ける ・設けない [3.4.2.3]
M3AS、P3AS、M3ASⅠ、M4ASⅠ及びP3ASⅠの脱気装置 ※設けない ・設ける [3.4.3]
防水改修工法の種類 新規防水層の種別 施工箇所 仕上り塗料塗り 使用分類
・POSⅠ工法 ・S-FⅠ ・S-F2
・SASⅠ工法 ・S-WⅠ ・S-W2
・S-M3
・POSⅠⅠ工法 ・SⅠ-FⅠ ・SⅠ-F2
・MASⅠⅠ工法 ・SⅠ-WⅠ ・SⅠ-W2
・SSSⅠ工法 ・S-FⅠ ・S-F2
・SSSⅠⅠ工法 ・SⅠ-FⅠ ・SⅠ-F2
・MASⅠⅡ工法 ・S-WⅠ ・S-W2
・S-M3
・M4ASⅠⅠ工法 ・SⅠ-WⅠ ・SⅠ-W2
・SⅠ-M3
⑥ 塗膜防水 [3.6.2.3]
防水改修工法の種類 新規防水層の種別 施工箇所 仕上り塗料塗り
・POⅠ工法 ※X-1 ・X-2
・XⅠⅠ工法 ・XⅠ-XⅠ-2
・底・窓台
・カラー
脱気装置 ※設けない ・設ける [3.6.3]
⑦ 脱気装置 [3.3.3]
種 類 材 質 設置数量
○平場部脱気型 ・ポリエチレン樹脂 ・ABS樹脂 （ ）㎡当たり1箇所
○ステンレス鋼 ・鋼鉄
・立上り部脱気型 ・合成ゴム ・塩化ビニル樹脂 （ ）㎡当たり1箇所
・ステンレス鋼 ・鋼
シーリング改修工法の種類 ○シーリング再充填工法 [3.1.4]
・シーリング充填工法
・拡幅シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法
シーリング材の種類 ※下表以外は、改修標仕表3.7.1による [3.7.2]
施工箇所 シーリング材の種類（記号）
打継・化粧目地 ポリウレタン系（PU-2）20×10
サッシ西方 変成シリコン系（MS-2）10×10
ブリッジ工法 ボンドブレーカー張り ・適用する [3.7.7]
エッジング材張り ・適用する
接着性試験 ※簡易接着性試験 ・引接着性試験（部位： ） [3.7.8]
⑧ シーリング [3.8.2]
⑨ とい [3.8.2]
この材質 ※配管用鋼管
・硬質塩化ビニル管（・VP ・RF-VP ） ☐ [3.8.1]
鋼管製といの防露巻き ※行う（施工箇所 ※改修標仕表3.8.5による ・ ） [3.8.2.3]
防露材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種
といの掃除口 ※あり（図示） ・なし [3.8.3]
たてとい受金物の取付け ※図示 ・標仕13.5.3（d）（2）による [3.8.3]
ルーフトレン [3.8.3]
種 別 施工箇所
・ろく屋根用（・た形 ・模様）
・バルコニー中継用
・バルコニー用
10 アルミニウム製窓木 [3.9.2]
種 類 最小呼称肉厚（mm） 表面処理 固定間隔 備 考
・250形 1.6 ※A-Ⅰ又はB-1種 ※固定方法及び間隔は図示による。 コーナー部、突当り部等の役物は本体製造所の仕様による。
・300形 1.8
・350形 2.0
・100形 （ ）
・
11 折板葺 [10.3.2.3]
形 式 形状（mm） 材料（規格等） 軒先面戸板 断熱材 耐火性能
※重ね形 山高（88） ※塗装済55%アルミニウム-亜鉛合金 ※あり 種別 ※30分
・はげ縋め形 山ピッチ めっき鋼板及び鋼帯 （ ） 厚さ （ ）mm
・かん合形 （ ） 板厚 耐火性能 （ ）時間
※0.6×0.8 A2150
・ カラー鋼板
・なし

記 事

年月日

工事名称

柳西団地外壁・屋根改修工事

縮尺

図面名

図面リスト・特記仕様書 1

図面番号

A-02

外壁改修工事
共通事項

① 施工数量調査

調査範囲 ※外壁改修範囲 ・図示の範囲
調査内容
(1) ひび割れの幅及び長さを壁面に表示し、ひび割れ部の手動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。（概ね0.3mm程度）
(2) モルタル塗り仕上げ及びタイル張り仕上げについては、浮き部分を表面に表示し、欠損部の形状寸法等を調査する。
(3) コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。
(4) 塗り仕上げについては、コンクリート又はモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示し、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。
調査報告書の部数 ※2部 ○1部

○既製鋼合モルタル

| 保水率 (%) | 単位容積質量 (N/g) | 接着強度 (N/mm ²) | 長さ変化率 (%) | 曲げ強度 (N/mm ²) |
|---------|--------------|---------------------------|-----------|---------------------------|
| 70以上 | 1.8程度 | 0.6程度 | 0.40以下 | 4.0以上 |

○バテ状エポキシ樹脂

| 初期硬化性 (N/mm ²) | 接着強度 (標準) (N/mm ²) | 圧縮強度 (N/mm ²) | 曲げ強度 (N/mm ²) | 硬化収縮率 (%) |
|----------------------------|--------------------------------|---------------------------|---------------------------|-----------|
| 標準値0以上 | 標準値0以上 | 50.0以上 | 30.0以上 | 3.0以下 |

○可とう性エポキシ樹脂

| 比重 | 押出し性 (秒) | スランプ (mm) | 加熱減量 (%) | 引張強度 (N/mm ²) | 伸び (%) | 引張接着性 |
|---------|----------|-----------|----------|-------------------------------------|--|--|
| 表示値 ±10 | 60以下 | 3.0以下 | 5.0以下 | 常温物性1.0以上 低温性 1.0以上 加熱劣化1.0以上 | 常温物性30.0以上 低温性 30.0以上 加熱劣化30.0以上 | 最大引張応力 1.0N/mm ² 以上 破断時の伸び 10.0%以上 |

(1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
(2) 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと。
(3) 常温常湿（温度20±15℃、湿度65±20％）において製造所の指定する期間又は製造後6箇月間保存したのもであっても、上記の品質性能の各項目に適合していること。
(4) 試験方法は、JIS A 6024（建築補修用注入エポキシ樹脂）に準ずる。

・タイル部分張替え工法用接着剤
適用範囲 張替え面積が比較的小さく、下地モルタルが健全な場所に用いる。
樹脂の種類 変成シリコーン樹脂系、ウレタン樹脂系

| 接着強度 | 標準 | 低湿硬化 | アルカリ温水 | 凍結融解 | 熱劣化 |
|-------------------------|------|--------|--------|--------|--------|
| 強度 (N/mm ²) | | 0.40以上 | 0.40以上 | 0.40以上 | 0.40以上 |
| 凝集破壊率 (%) | 75以上 | 50以上 | 50以上 | 50以上 | 50以上 |

| 皮膜物性 | 標準 | 高温 | 低温 | アルカリ温水 | 熱劣化 |
|---------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 引張強度 (N/mm ²) | 0.60以上 | 0.60以上 | 0.60以上 | 0.40以上 | 0.40以上 |
| 伸び (%) | 35以上 | 35以上 | 35以上 | 25以上 | 25以上 |

貯蔵安定性 質量の変化が5%以内で、かつ、均質で異物が認められないこと。
(一液形のみ)
混練終結確認容易性 混練終結時の色が明瞭であること。
(二液形のみ)
耐熱性 JIS A 5557の試験において、80℃で4週間1kgの重りで安定していること。
ずれ抵抗性 ずれが生じないこと。
(1) 外観は、均質で、有害と認められる異物の混入がないこと。
(2) タイル、下地材等を侵すものでないこと。
(3) 「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律」に規定された第一種特定化学物質及び第二種特定化学物質、並びに「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。
(4) 常温常湿（温度20±15℃、湿度65±20％）において製造後6箇月間保存しても上記の品質性能に適合していること。

○エポキシ樹脂モルタル

| 接着強度 (N/mm ²) | 圧縮強度 (N/mm ²) | 曲げ強度 (N/mm ²) |
|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 1.0以上 | 20.0以上 | 10.0以上 |

(1) こて塗りが容易で、かつ、硬化後の仕上がり良好であること。
(2) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
(3) 「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと。
(4) 形状に異常がなく、だれが生じないこと。
(5) 常温常湿（温度20±15℃、湿度65±20％）において製造後6箇月間保存しても上記の品質性能に適合していること。

○ポリマーセメントモルタル

| 種類 | 合成ゴム系、アクリル系、エチレン－酢ビ系等 | |
|---------------------------|---------------------------|-------------------------------------|
| 曲げ強度 (N/mm ²) | 圧縮強度 (N/mm ²) | 接着強度 (N/mm ²) |
| 6.0以上 | 20.0以上 | 標準時 1.0以上 湿潤時 0.8以上 低湿時 0.5以上 |

(1) 表面状態 たれの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生していないこと。
(2) 透水性 裏面の流れ、水滴の付着がないこと。
(3) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。
(4) ポリマーセメントモルタルに用いる高分子エマルションは、常温常湿において製造後6箇月間保存しても変質しないこと。

○ポリマーセメントスラリー

| 広がり速度 (㎡/s) | 長さ変化率 (収縮) (%) | 引張接着性 (材齢28日) (N/mm ²) | 曲げ性能 (72時間) (N/mm ²) | 吸水性 (劣化曲げ強度) (%) | 耐久性 (劣化曲げ強度) (N/mm ²) |
|-------------|----------------|------------------------------------|----------------------------------|------------------|-----------------------------------|
| 3以上 | 3以下 | 0.5以上 | 5.0以上 | 15%以下 | 5.0以上 |

保水係数 0.95~0.99
粘弾係数 0.90~1.00

○吸水調整材

| 全固分率 (%) | 吸水量 (g) | 接着強度 (N/mm ²) | 界面破壊率 (%) |
|-----------|---------|---------------------------|-----------|
| 表示値±1.0以内 | 30分間で以下 | 0.30以上 | 50以下 |

均質で有害と認められる異物の混入がないこと。

② 改修材料

4-1 外壁改修工事
コンクリート打放し仕上げ外壁

4-2 外壁改修工事
モルタル塗り仕上げ外壁

4-3 外壁改修工事
タイル張り仕上げ外壁

4-4 外壁改修工事
塗り仕上げ外壁

⑤ 建具改修工事

① 改修工法

2 見本の製作等

3 防犯建物部品

4 アルミニウム製建具

5 鋼製建具

6 鋼製軽量建具

7 ステンレス製建具

8 木製建具

9 建具用金物

10 自動ドア開閉装置

11 自閉式上吊り引戸装置

12 重量シャッター

13 軽量シャッター

14 オーバーヘッドドア

⑥ 内装改修工事

1 5 ガラス

6 内装改修工事

7 塗装改修工事

⑧ 錆止め塗料塗り

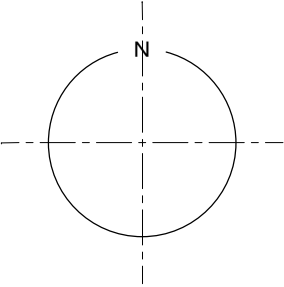
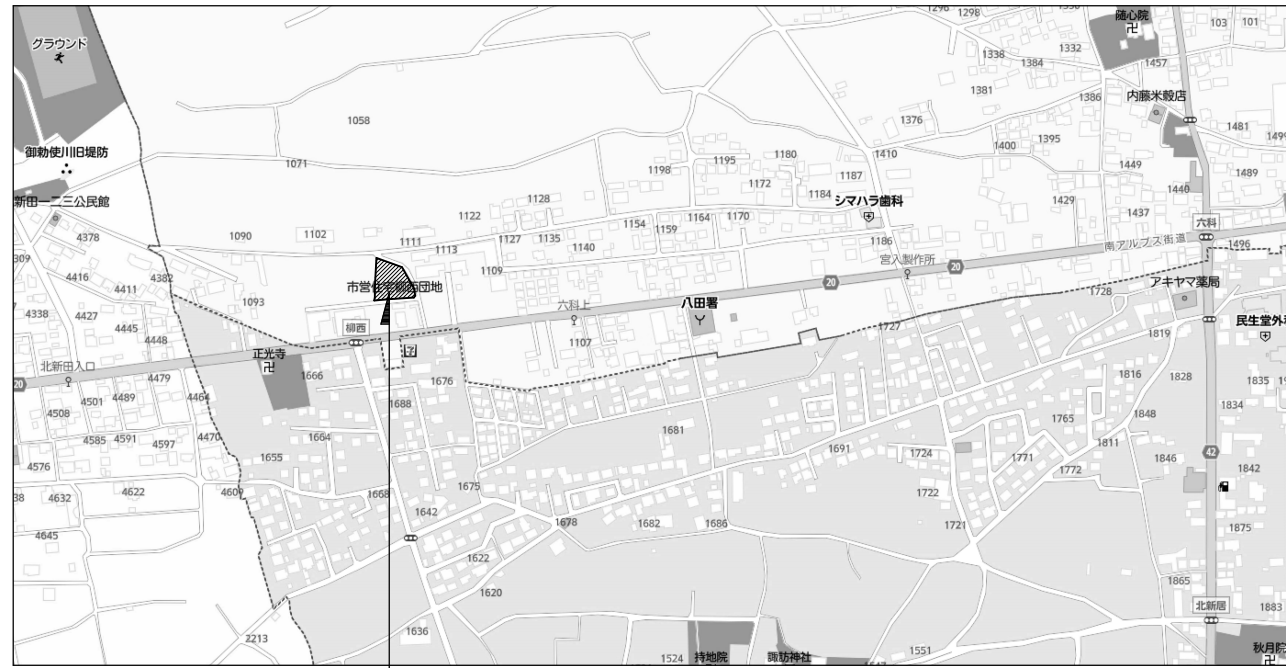
板ガラスの種類、厚さ等は建具表による
・ガラスブロック
表面形状 呼び寸法 (mm) 厚さ (mm) 色 調 防火認定
・正方形 ・ ※クリア ・熱線反射 ※なし
・長方形 ・ 乳白色 ・カラー () ・あり

ガラス留め材 [5.12.2] [表5.12.1] [表3.7.1]
建具の種類 材 種
アルミニウム製 ※シーリング材 ・ガasket (FIX部はシーリング材)
鋼製及び鋼製軽量 ※シーリング材
ステンレス製 ※シーリング材
防火戸のガラス留め材は、防火戸が建築基準法に基づき定められ又は認定を受けた条件による。

板ガラスをはめ込む溝の大きさ [5.12.3]
改修棟住5.12.3以外のアルミニウム製建具及び板ガラスの場合は(社)日本建築学会 JASS17 ガラス工事「納まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を監督職員に提出する。

ガラス用フィルム
名 称 種 類 張り面 性能値
※ガラス飛散防止フィルム 第2種 ※内張り ・外張り 飛散防止率 DI
・
品名 JAS 5759Iによる

[7.1.3]
※F☆☆☆☆ ・第三種
建築物内部に使用する資材の材質 ・水系
防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。〔施工箇所：〕
・次の箇所を除き防火材料とする。
(1) 構造躯体
(2) 開口部
(3) 換気口
(4) 電気配線管
(5) 暖房器具
(6) 給排水管
(7) 排水管
(8) 煙突
(9) 排気口
(10) 換気扇
(11) 換気口
(12) 換気口
(13) 換気口
(14) 換気口
(15) 換気口
(16) 換気口
(17) 換気口
(18) 換気口
(19) 換気口
(20) 換気口
(21) 換気口
(22) 換気口
(23) 換気口
(24) 換気口
(25) 換気口
(26) 換気口
(27) 換気口
(28) 換気口
(29) 換気口
(30) 換気口
(31) 換気口
(32) 換気口
(33) 換気口
(34) 換気口
(35) 換気口
(36) 換気口
(37) 換気口
(38) 換気口
(39) 換気口
(40) 換気口
(41) 換気口
(42) 換気口
(43) 換気口
(44) 換気口
(45) 換気口
(46) 換気口
(47) 換気口
(48) 換気口
(49) 換気口
(50) 換気口
(51) 換気口
(52) 換気口
(53) 換気口
(54) 換気口
(55) 換気口
(56) 換気口
(57) 換気口
(58) 換気口
(59) 換気口
(60) 換気口
(61) 換気口
(62) 換気口
(63) 換気口
(64) 換気口
(65) 換気口
(66) 換気口
(67) 換気口
(68) 換気口
(69) 換気口
(70) 換気口
(71) 換気口
(72) 換気口
(73) 換気口
(74) 換気口
(75) 換気口
(76) 換気口
(77) 換気口
(78) 換気口
(79) 換気口
(80) 換気口
(81) 換気口
(82) 換気口
(83) 換気口
(84) 換気口
(85)

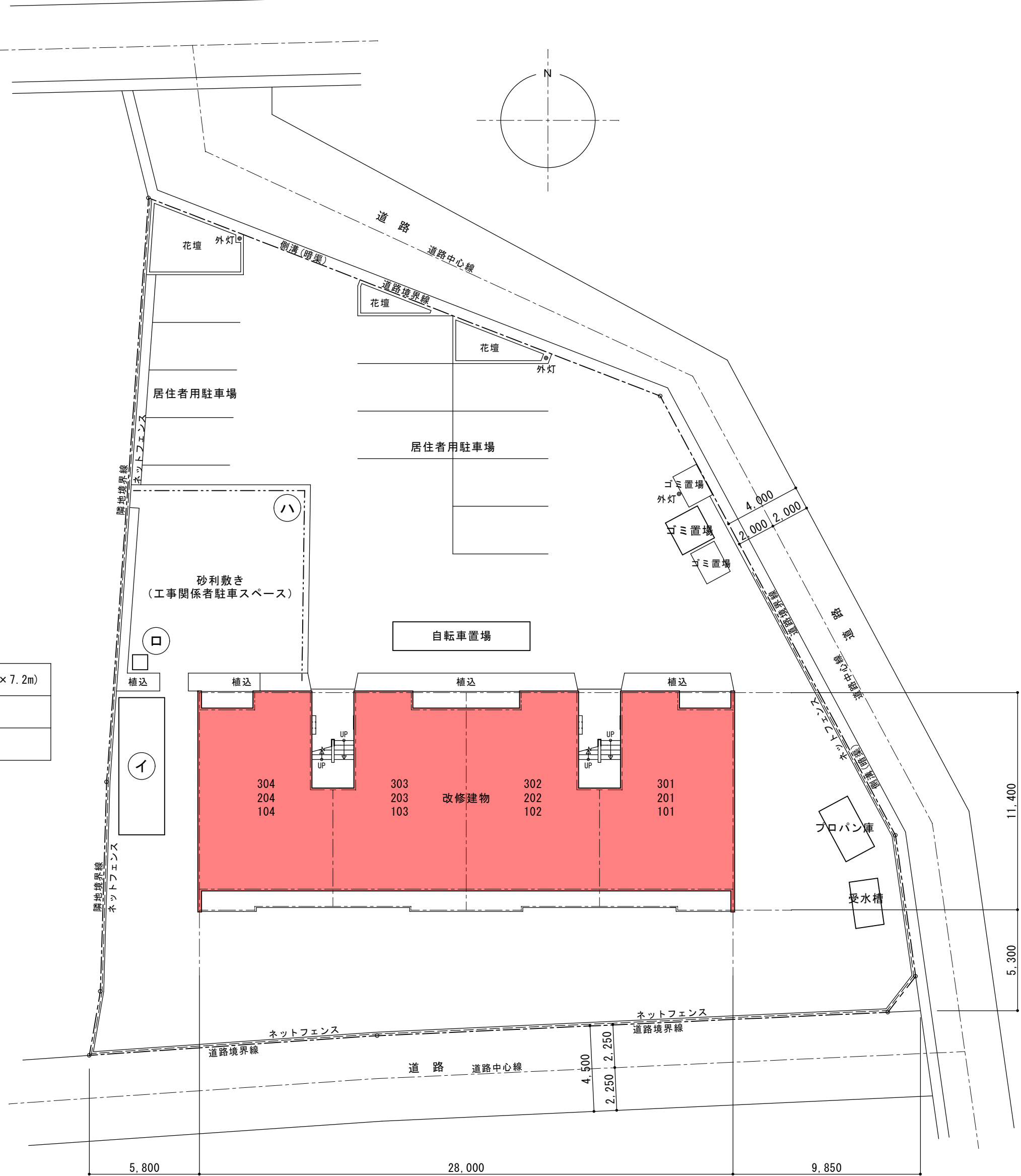


位置
南アルプス市六科地内

付近見取図 S=1:8000

仮設建物凡例

- イ 監督員兼用現場事務所(ユニットハウス 2.4m×7.2m)
- ロ 便所(汲み取り式)
- ハ 単管ウマバリケード



配置図 S=1:200

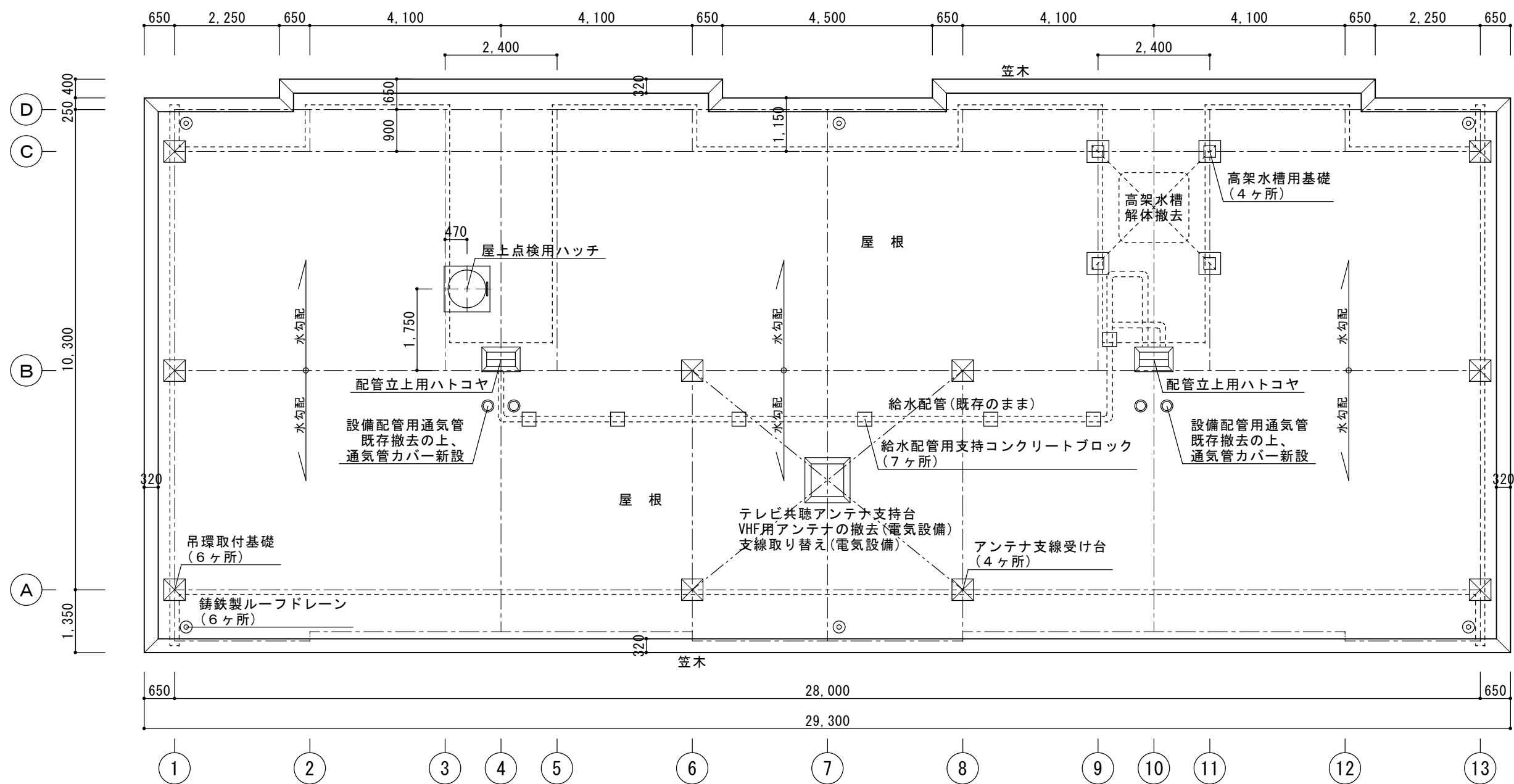
| | | | | | | | | | |
|----|--|--|--|--|--|--|---------------------|----------------------------|--------------|
| 記事 | | | | | | | 年月日 | 工事名称 | 図面番号 A-05 |
| | | | | | | | 縮尺 S=1:8000, 200 | 図面名 | |
| | | | | | | | | 柳西団地外壁・屋根改修工事 付近見取図・配置図 | |

| 場所 | | 既存 | 改修 |
|-------|-----------|---|--|
| 屋根 | 平場部 | 合成ゴムシート防水 t=1.2mm張り (S-F1) 高分子防水層表面仕上げ材塗布 | 下地調整の上、断熱材硬質ウレタンフォーム t=25mm敷込 加工共 塩ビ樹脂系シート防水 t=1.5mm 機械固定工法 (S1-M2) 脱気装置付 |
| | バラベツト立上り部 | 同上 | 防水シート撤去、下地調整の上、塩ビ樹脂系シート防水 t=1.5mm張り 接着工法 (S-F2) |
| | 笠木 | 防水モルタル金ゴテ仕上 W=300 | 水洗い(高圧水)・下地調整の上、ウレタン系樹脂塗膜防水 (X-2) |
| | 各種架台部 | シート防水の上、高分子防水層表面仕上げ材塗布 及び防水モルタル金ゴテ仕上 | 水洗い(高圧水)・下地調整の上、ウレタン系樹脂塗膜防水 (X-2) |
| | 屋上点検用ハツチ | 鑄鉄製丸型 1液反応硬化形ウレタン樹脂塗装 | 下地調整の上、1液反応硬化形ウレタン樹脂塗装 |
| | 設備配管用通気管 | 鑄鉄製丸型 樹脂系塗装 | 既存撤去の上、GRC製通気管カバー新設 |
| | テレビ共聴アンテナ | VHF用及びUHF用アンテナ | VHF用アンテナの撤去(電気設備) 支線取り替え(電気設備) |
| | 高架水槽 | 鑄鉄製 樹脂系塗装 | 解体撤去 給水配管は既存のまま |
| 外壁 | 一般壁 | モルタル刷毛引きの上 多機能型単層弾性仕上材吹付(低汚染性) | 水洗い(高圧水)の上、水性カチオンシーラー透明＋ セラミック変性シリコン系単層弾性仕上げ材 |
| | 妻壁 | コンクリート打放しの上 多機能型単層弾性仕上材吹付(低汚染性) | 同上 |
| | バラベツト | 同上 | 同上 |
| | 窓水切り | 防水モルタル金ゴテ仕上 | 水洗い(高圧水)・下地調整の上、ウレタン系樹脂塗膜防水 (X-2) |
| 軒天 | | コンクリート打放しの上、アクリル系リシン吹付 | 水洗い(高圧水)の上、水性カチオンシーラー透明＋ セラミック変性シリコン系単層弾性仕上げ材 |
| 窓庇 | 上端 | 防水モルタル金ゴテの上 ウレタン系樹脂塗膜防水 (X-2) | 水洗い(高圧水)・下地調整の上、ウレタン系樹脂塗膜防水 (X-2) |
| | 下端、側面 | 下端：軒天と同、側面：外壁と同 | 下端：軒天と同、側面：外壁と同 |
| 基礎 | 外巾木 | モルタル刷毛引 | 水洗い(高圧水)・下地調整の上、NAD塗装 |
| | 床下換気口 | 鑄鉄製 420×170 | クリーニング |
| バルコニー | 床・巾木 | 防水モルタル金ゴテ仕上 | 下地調整の上、超速硬化ウレタン塗膜防水(スプレー工法) |
| | 手摺壁(外側) | コンクリート打放しの上 多機能型単層弾性仕上材吹付(低汚染性) | 水洗い(高圧水)の上、水性カチオンシーラー透明＋ セラミック変性シリコン系単層弾性仕上げ材 |
| | 手摺壁(内側) | 同上 | 同上 |
| | 天井 | コンクリート打放しの上、アクリル系リシン吹付 1階床裏面は仕上無し | 水洗い(高圧水)の上、水性カチオンシーラー透明＋セラミック変性 シリコン系単層弾性仕上げ材 1階床裏面は既存のまま |
| | 笠木 | 防水モルタル金ゴテ仕上 | 水洗い(高圧水)・下地調整の上、ウレタン系樹脂塗膜防水 (X-2) |
| | 隔て板 | 枠：鋼製 1液反応硬化形ウレタン樹脂塗装 パネル：石綿板 t=5mm 枠有り合成樹脂エマルジョンペイント塗装 | 枠：下地調整の上、1液反応硬化形ウレタン樹脂塗装 パネル：下地調整の上、NAD塗装 避難ステッカー：150×400 新設(杉田エース 213-643同等品) |
| | 避難用はしご | ステンレス製 | クリーニング |
| | 物干し金物 | 丸鋼及びプレート造 1液反応硬化形ウレタン樹脂塗装 | 下地調整の上、1液反応硬化形ウレタン樹脂塗装 |
| | 鋼製手摺 | 鋼製 1液反応硬化形ウレタン樹脂塗装 | 下地調整の上、1液反応硬化形ウレタン樹脂塗装 |
| | | | |

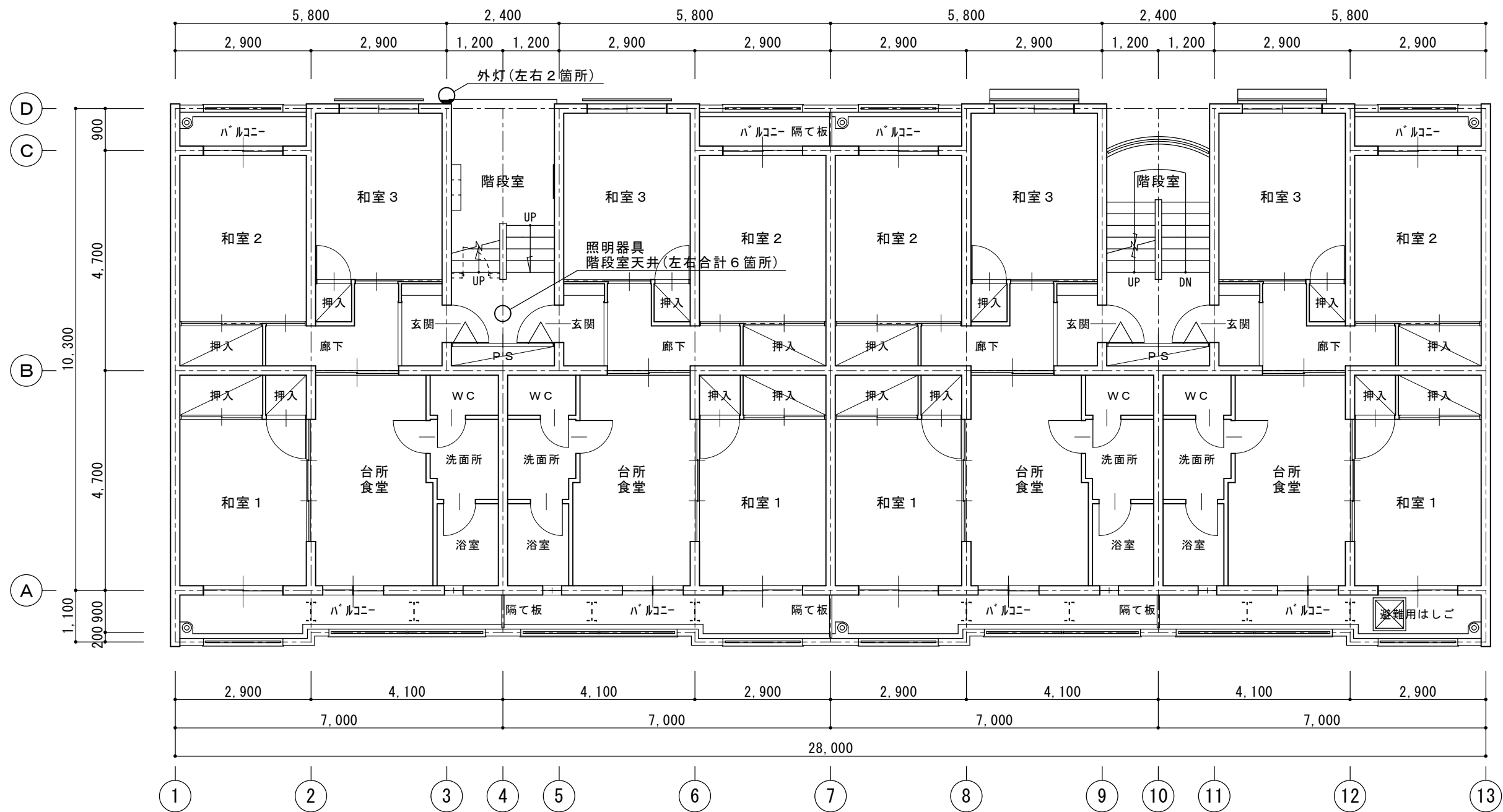
| 場所 | | 既存 | 改修 |
|-----|---|--|---|
| 階段室 | 床・巾木 | 防水モルタル金ゴテ仕上 | 水洗い(デッキブラシ) |
| | 腰壁・手摺壁 | モルタル金ゴテの上 ツヤ有り合成樹脂エマルジョンペイント塗装 | 水洗い(高圧水)・下地調整の上、NAD塗装 |
| | 壁 | モルタル刷毛引の上 多機能型単層弾性仕上材吹付(低汚染性) | 水洗い(高圧水)の上、水性カチオンシーラー透明＋ セラミック変性シリコン系単層弾性仕上げ材 |
| | 手摺壁笠木 | 防水モルタル金ゴテ | 水洗い(デッキブラシ) |
| | 天井 | コンクリート打放しの上 アクリル系リシン吹付(最上階共) | 水洗い(高圧水)の上、水性カチオンシーラー透明＋ セラミック変性シリコン系単層弾性仕上げ材 |
| | 踊り場手摺 | 鋼製 1液反応硬化形ウレタン樹脂塗装 | 下地調整の上、1液反応硬化形ウレタン樹脂塗装 |
| | 階段手摺 | | クリーニング |
| | 1. 玄関ドア・PS点検扉 ・床下点検扉・タラップ 2. 室名札 3. 牛乳受 4. 集合郵便受 5. 掲示板 W=720, H=410 | 1. 鋼製 1液反応硬化形ウレタン樹脂塗装 2. ステンレス製 3. 塩ビ製 4. ステンレス製 5. 掲示クロス貼り | 1. 下地調整の上、1液反応硬化形ウレタン樹脂塗装 2. クリーニング 3. クリーニング 4. クリーニング 5. 掲示クロス貼替え、クリーニング |
| 樋 | 1. ルーフドレン 2. フロアドレン 3. 竖樋 | 1. 鑄鉄製 φ75用(縦型、横引型共)タールエボキシ樹脂塗装 2. 鑄鉄製 φ75用 タールエボキシ樹脂塗装 3. 硬質塩化ビニル管 VUφ75 1液反応硬化形ウレタン樹脂塗装 | 1. 既設ドレン撤去 改修用ドレン新設 塩ビ製 φ75用(縦型・横引型共) 2. 下地調整の上、1液反応硬化形ウレタン樹脂塗装 3. 下地調整の上、1液反応硬化形ウレタン樹脂塗装 |
| その他 | 1. アルミ製サッシ・ガラス 2. 東妻面配電盤類 3. 衛生バラボラアンテナ 4. 両妻壁団地番号 5. P S 内部 | | 1. クリーニング(外部見え掛りのみ) 2. 下地調整の上、1液反応硬化形ウレタン樹脂塗装 3. バラボラの衛生バラボラアンテナを一時取外し、再設置 再設置後受信調整 (工事前の受信状態までは保証しない。) 4. 文字入れ(現状文字と同じ) 下地調整の上、1液反応硬化形ウレタン樹脂塗装 5. 清掃 |

| | |
|---------------------------|---|
| ※外壁等事前調査 | ○外壁改修工事に先立ち、全面打診等によりクラック、モルタルの浮き、欠損等の調査を行う。 ○不良部分は、マーキング・計測を行い、図面記入を行う。(調査図作成・提出) ○不良箇所の是正範囲、是正方法等は、原則下記による。ただし監督員と協議の上、決定するものとする。 ・クラック補修：0.3mm以上のクラックはUカットの上、シール材充填工法 (0.3mm未満は塗装処理) ・モルタル浮き：ボンドピンニング部分エボキシ樹脂注入工法 ・爆裂・錆だれ部：鉄筋ハヅリ出し、ケレン・防錆処理、プライマー処理の上、ポリマーセメント補修 ○アスベスト含有調査を行う。(外壁、軒天、モルタル撤去部。 ※アスベストが含有していた場合は、監督員と協議し決定する。 |
| ※参考仕上材 ※監督員と協議の上、決定する。 | ○セラミック変性シリコン系単層弾性仕上げ材：D A NシリコンセラS(日本ペイント)同等品 ○1液反応硬化形ウレタン樹脂塗料：1液ファインウレタンU 1 0 0(日本ペイント)同等品 ○N A D塗装：ケンエース(日本ペイント)同等品 ※塗装回数及び1回当たりの塗装量等は、メーカー標準施工要領による。 ○塩ビ樹脂系シート防水 t=1.5mm 機械固定断熱工法 (S1-M2) 脱気装置付：リベツトルーフMIH-SGM15NU(アーキヤママデ)同等品 ○超速硬化ウレタン塗膜防水(スプレー工法)：オルタックスブレー0TL-200-SP(田島ルーフィング)同等品 |

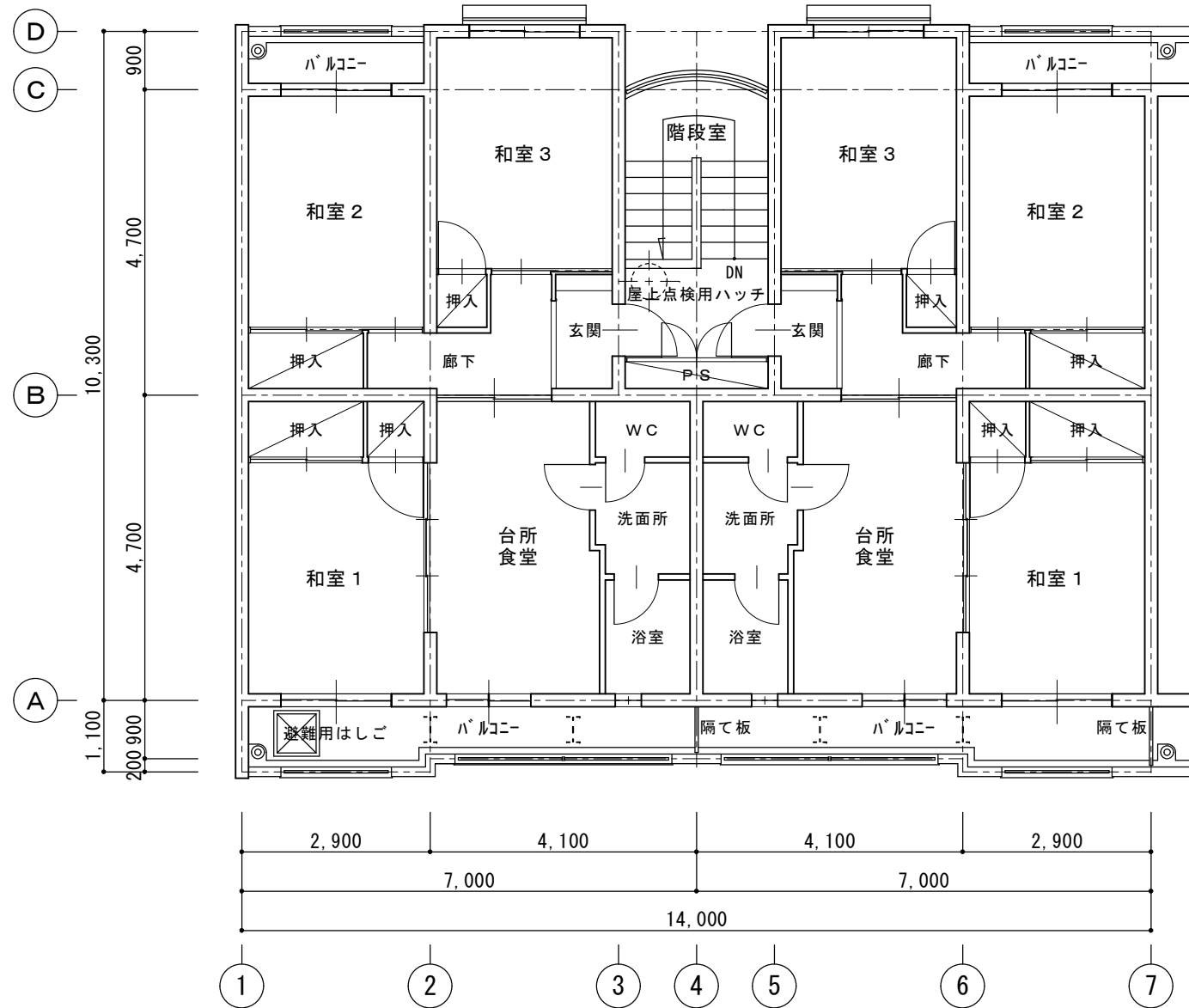
| | | | | | | | | | | |
|--------|--|--|--|--|--|--|--|-----------|---------------|---------------|
| 記 事 | | | | | | | | 年月日 | 工事名称 | 図面番号 A-O 6 |
| | | | | | | | | | 柳西団地外壁・屋根改修工事 | |
| | | | | | | | | 縮尺 N S | 図面名 | |
| | | | | | | | | | 仕上表 | |



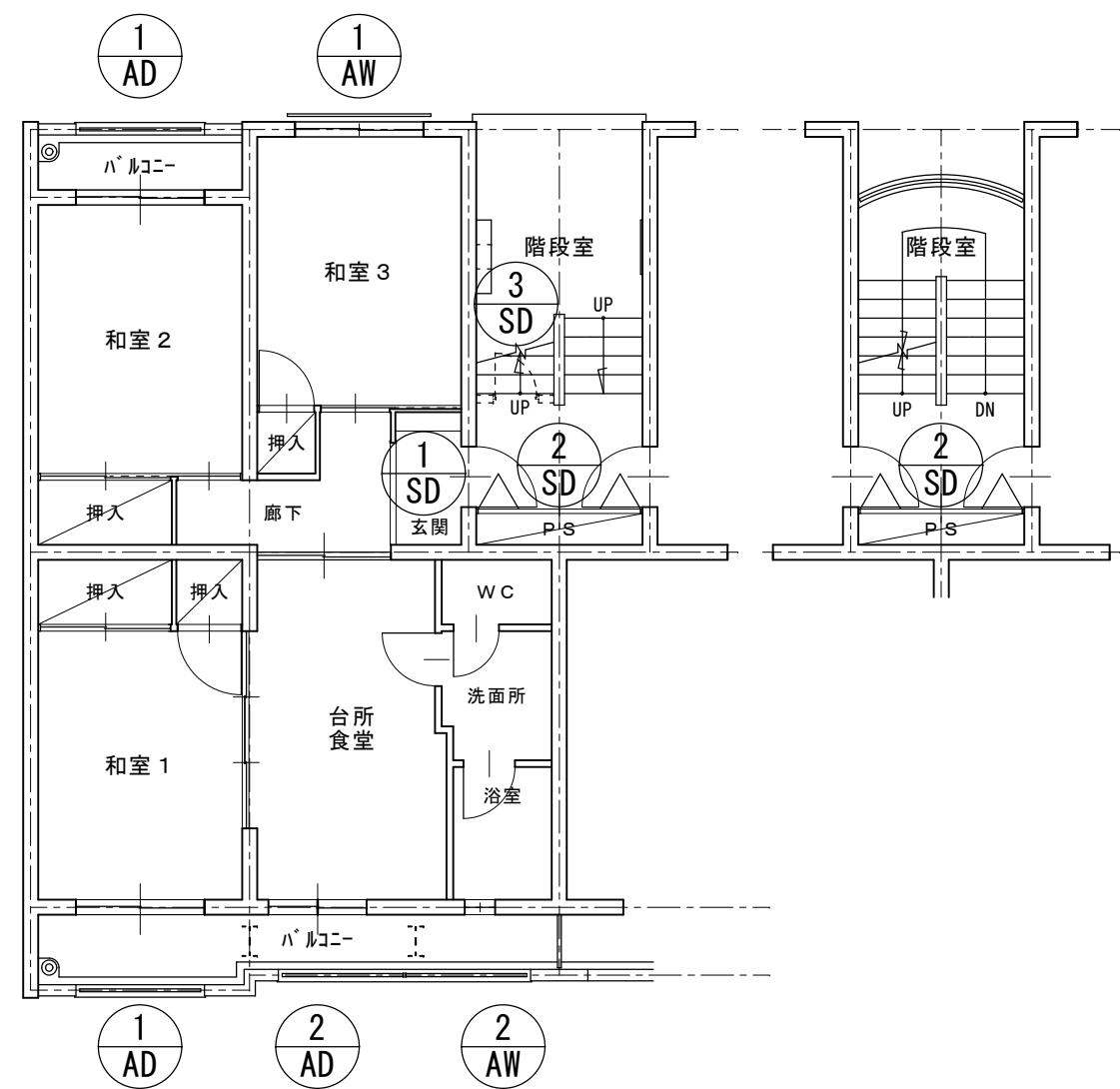
屋根伏図 S=1:100



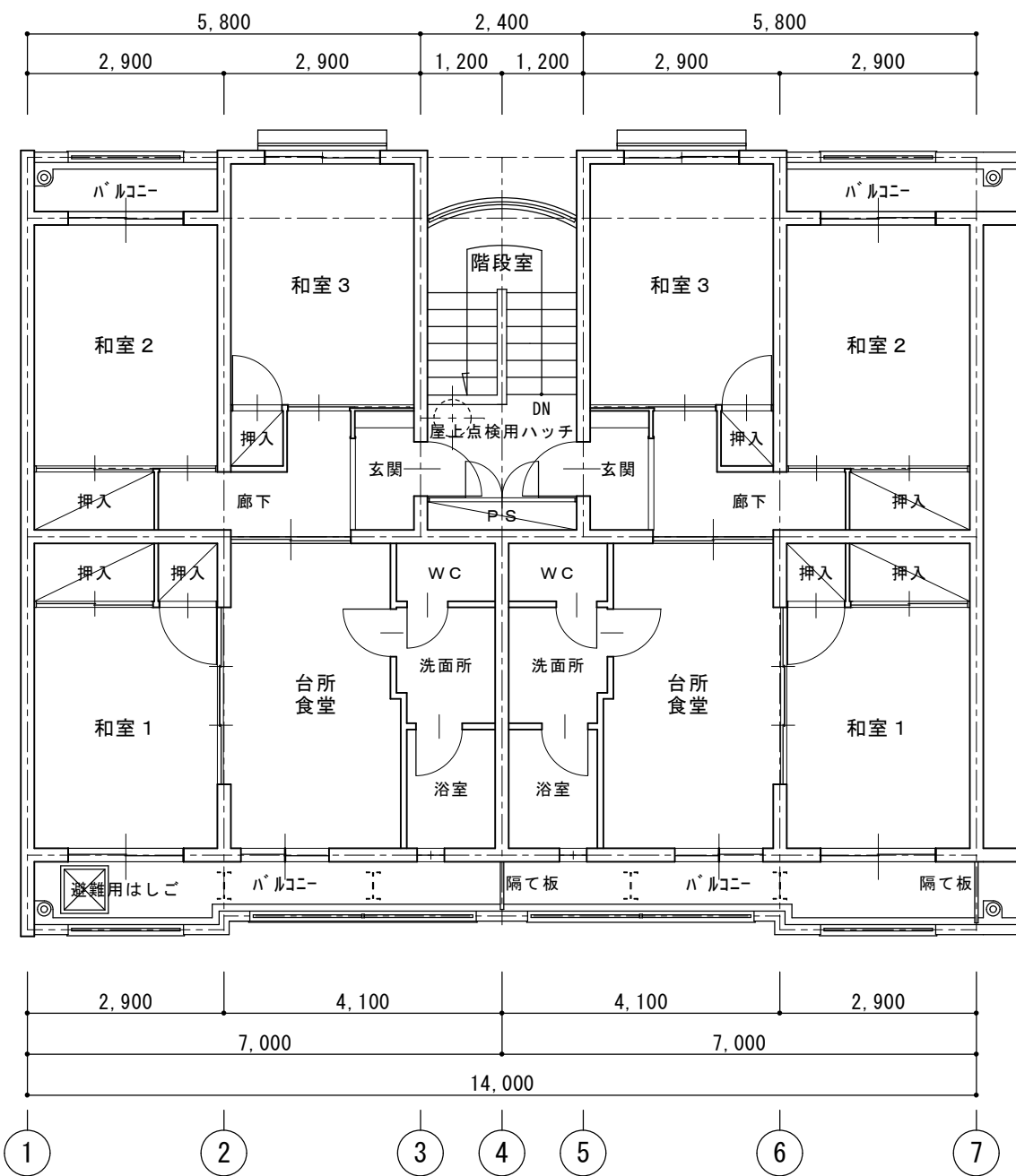
1階平面図 S=1:100



2階平面図 S=1:100

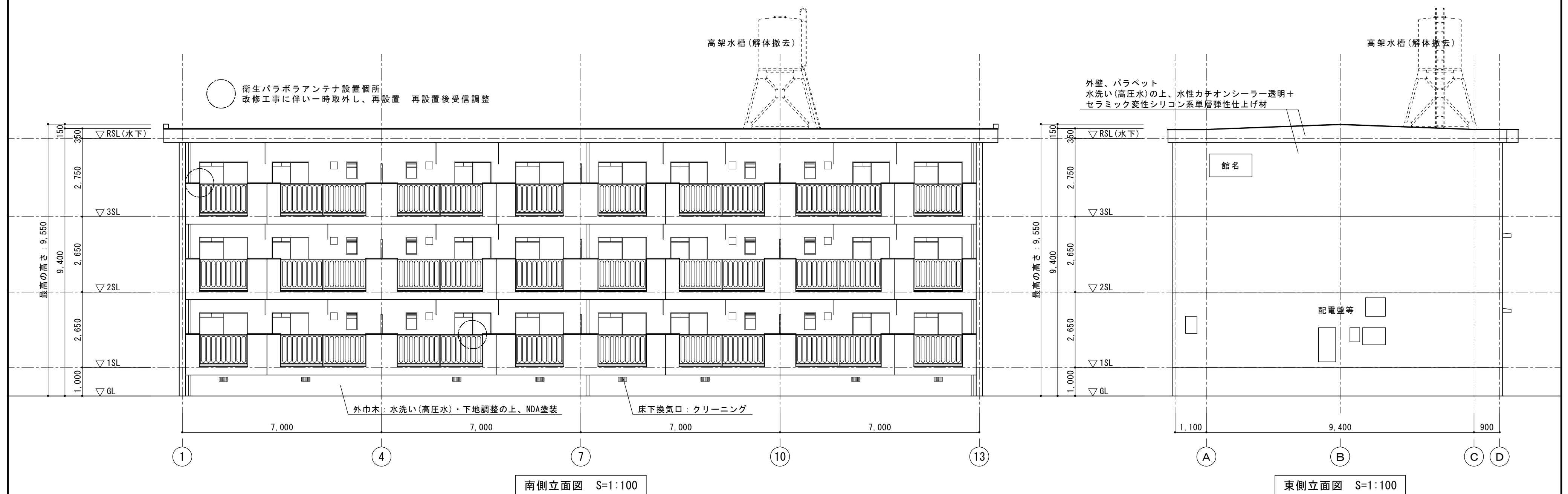
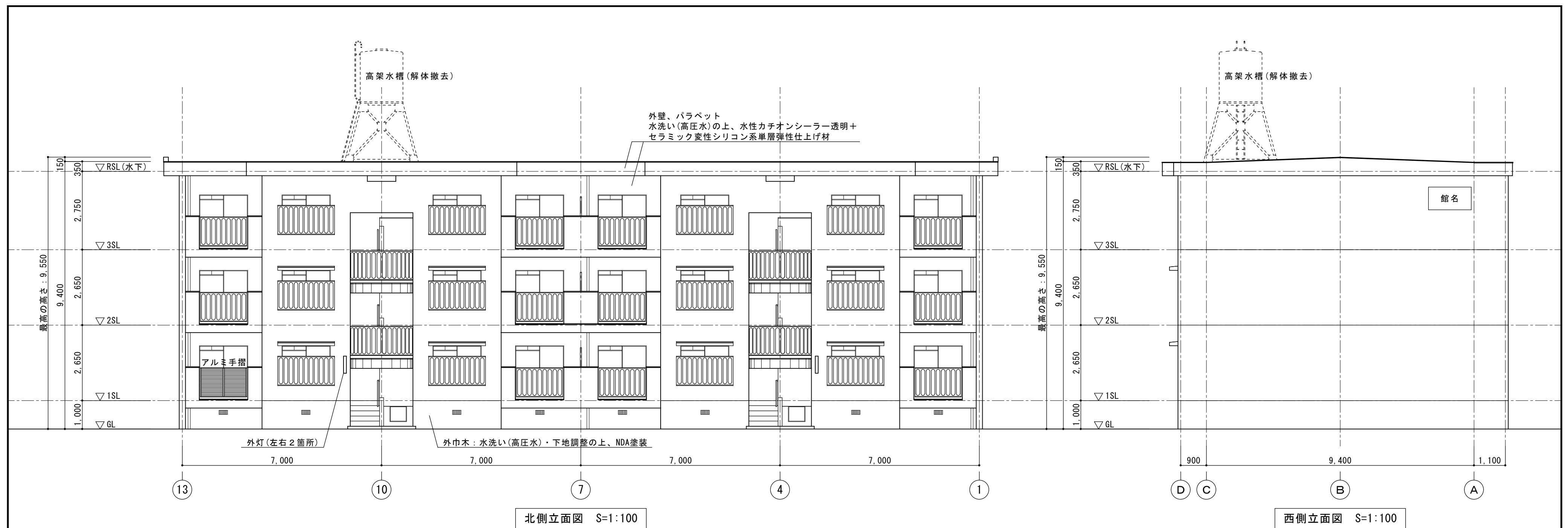


建具リスト S=1:100

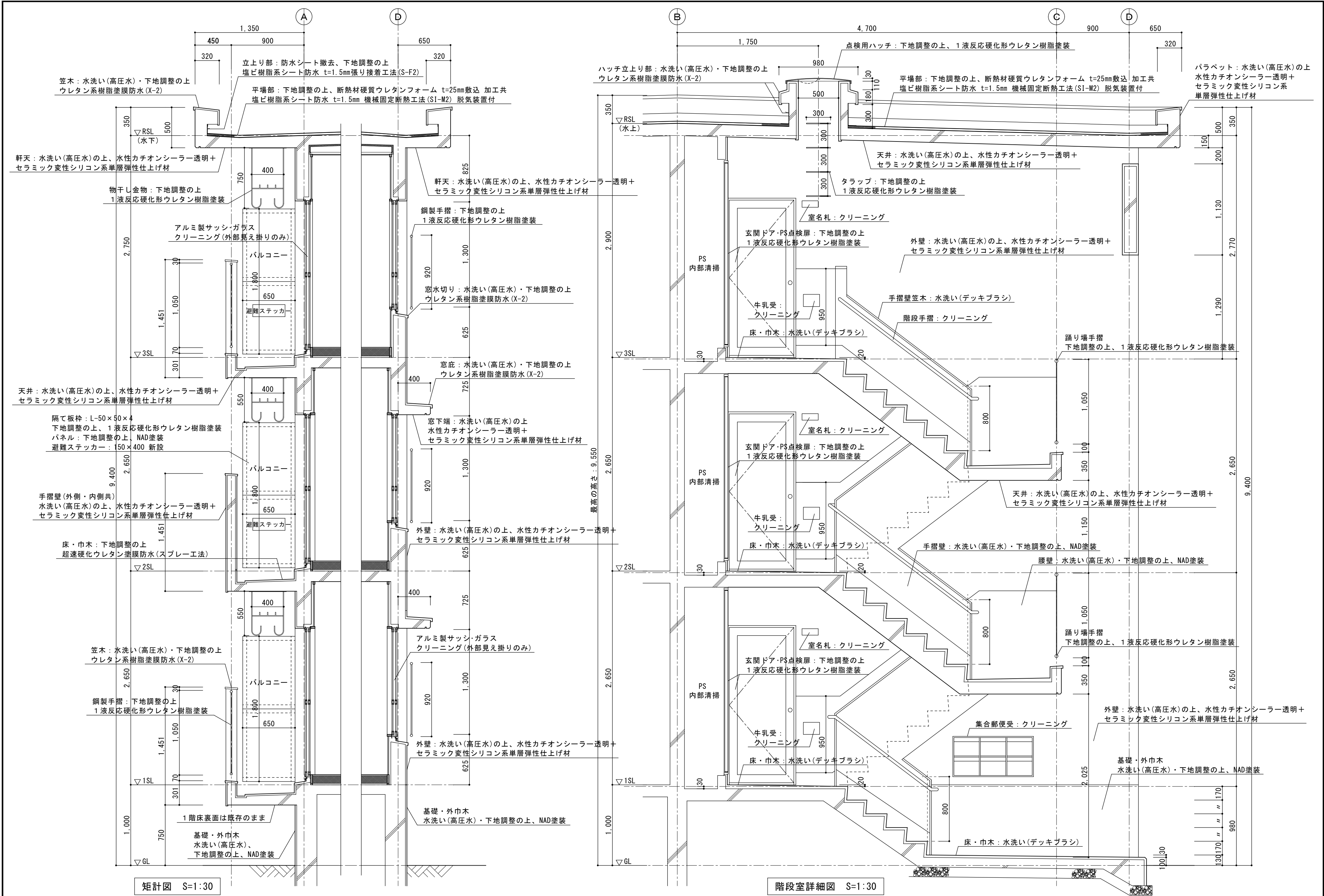


3階平面図 S=1:100

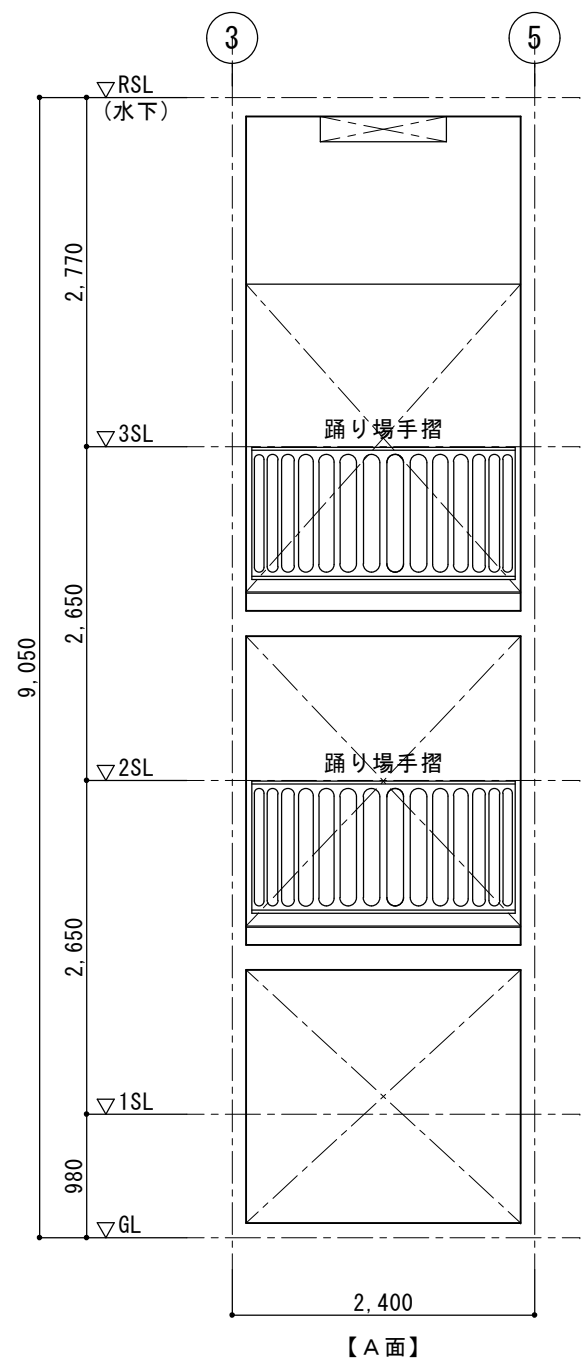
| | | | | | | | | | |
|----|--|--|--|--|--|--|---------------|----------------|--------------|
| 記事 | | | | | | | 年月日 | 工事名称 | 図面番号 A-07 |
| | | | | | | | 縮尺 S=1:100 | 図面名 | |
| | | | | | | | | 平面図・屋根伏図・建具リスト | |



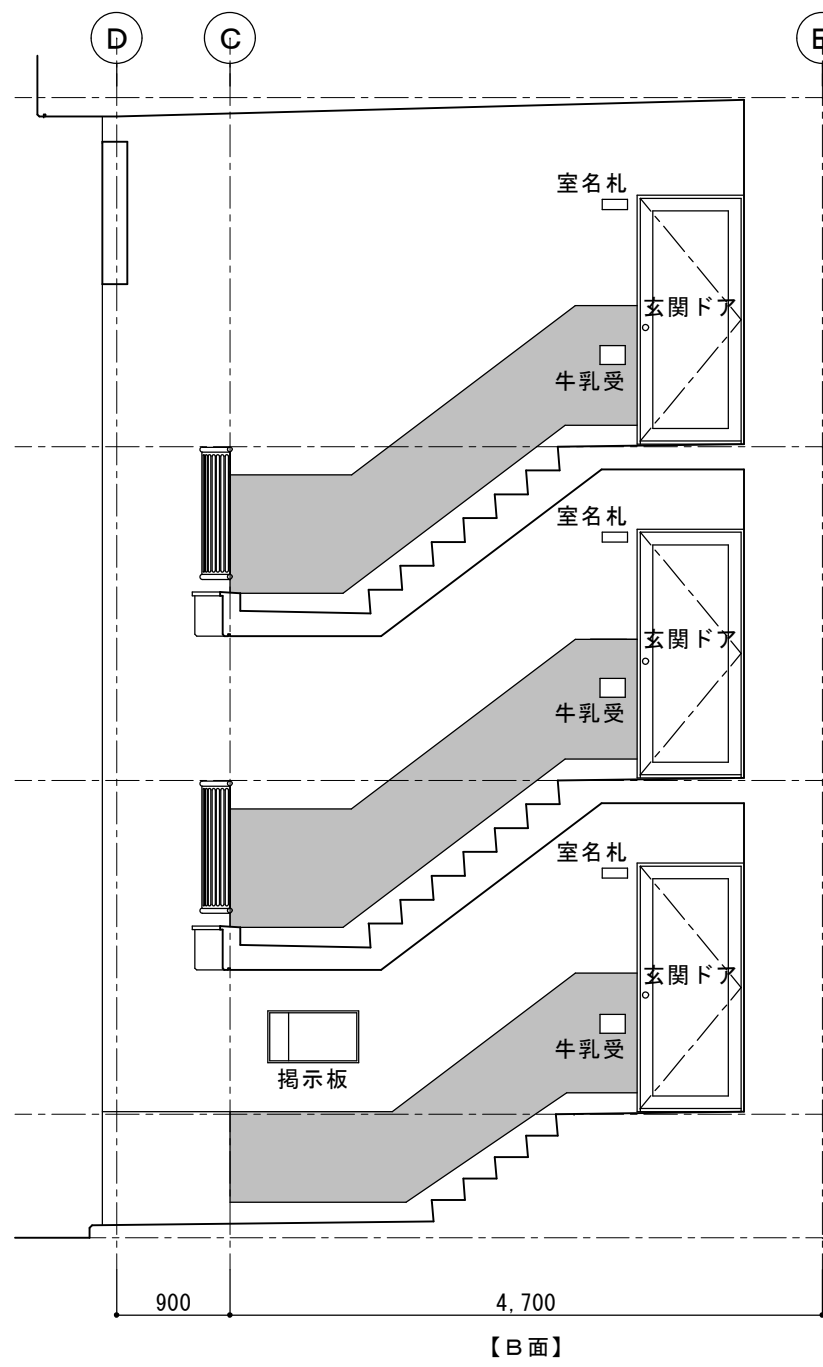
| | | | | | | | | |
|--------|--|--|--|--|--|---------------|-----------------------|--------------|
| 記 事 | | | | | | 年月日 | 工事名称 柳西団地外壁・屋根改修工事 | 図面番号 A-08 |
| | | | | | | 縮尺 S=1:100 | 図面名 立面図 | |



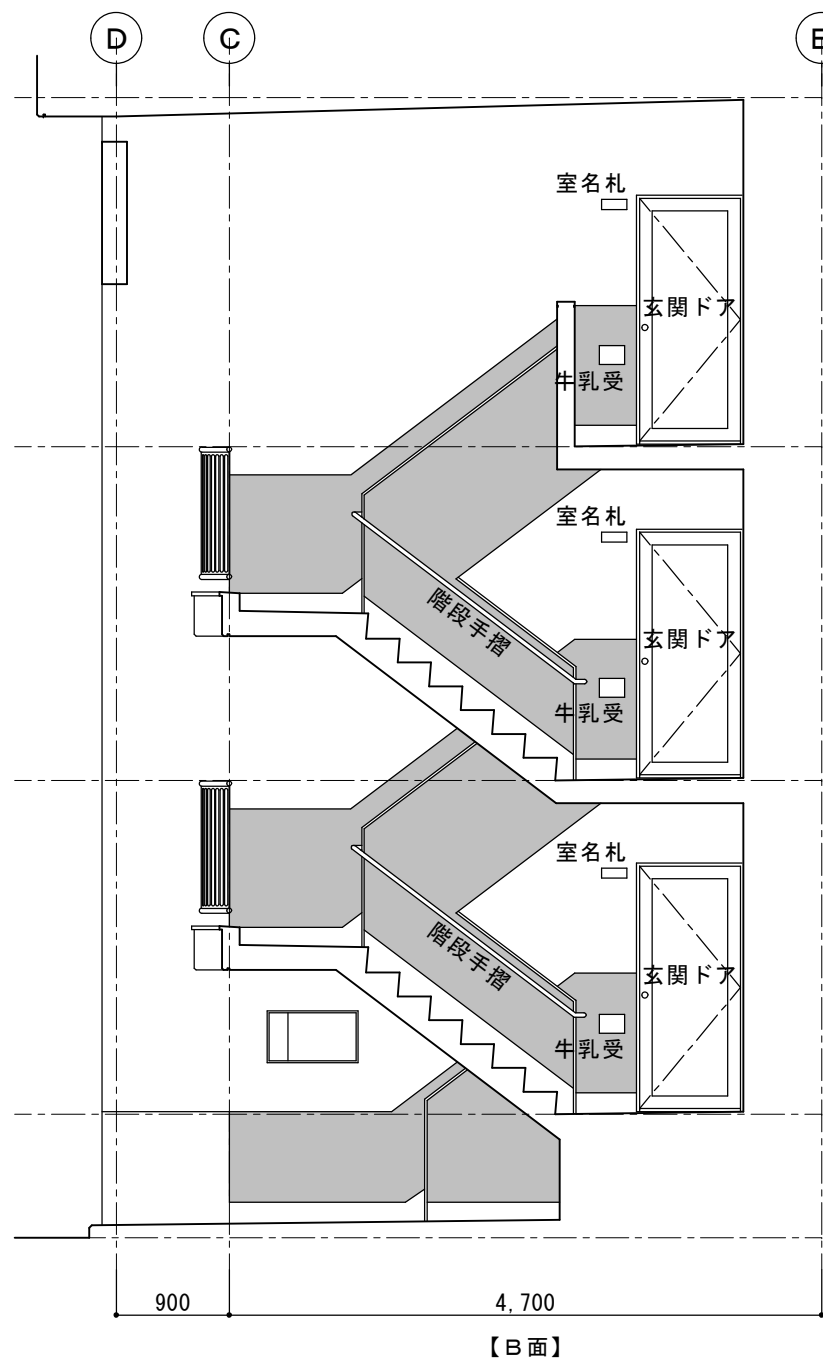
| | | | | | | | | | | |
|----------------|--|--|--|--|--|--|--|--------------|-------------------|-----------------------|
| 記 事 | | | | | | | | 年月日 | 工事名称 | 図面番号 A-10 ／ |
| | | | | | | | | | 柳西団地外壁・屋根改修工事 | |
| | | | | | | | | 縮尺 S=1:30 | 図面名 矩計図・階段室詳細図 | |



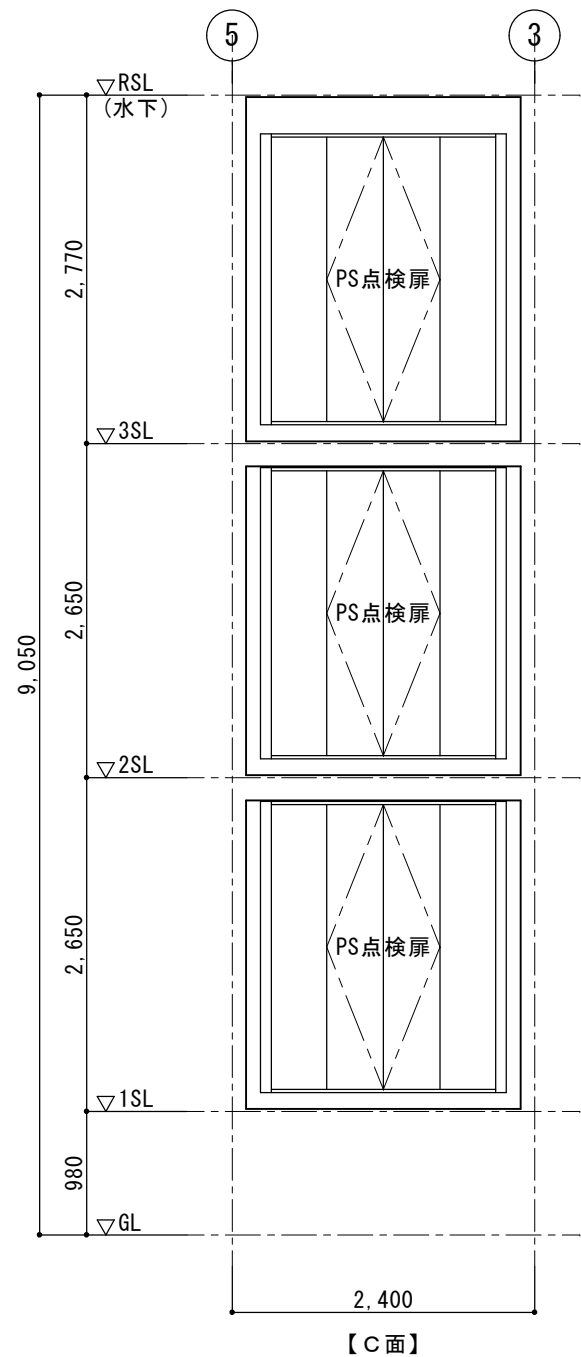
【A面】



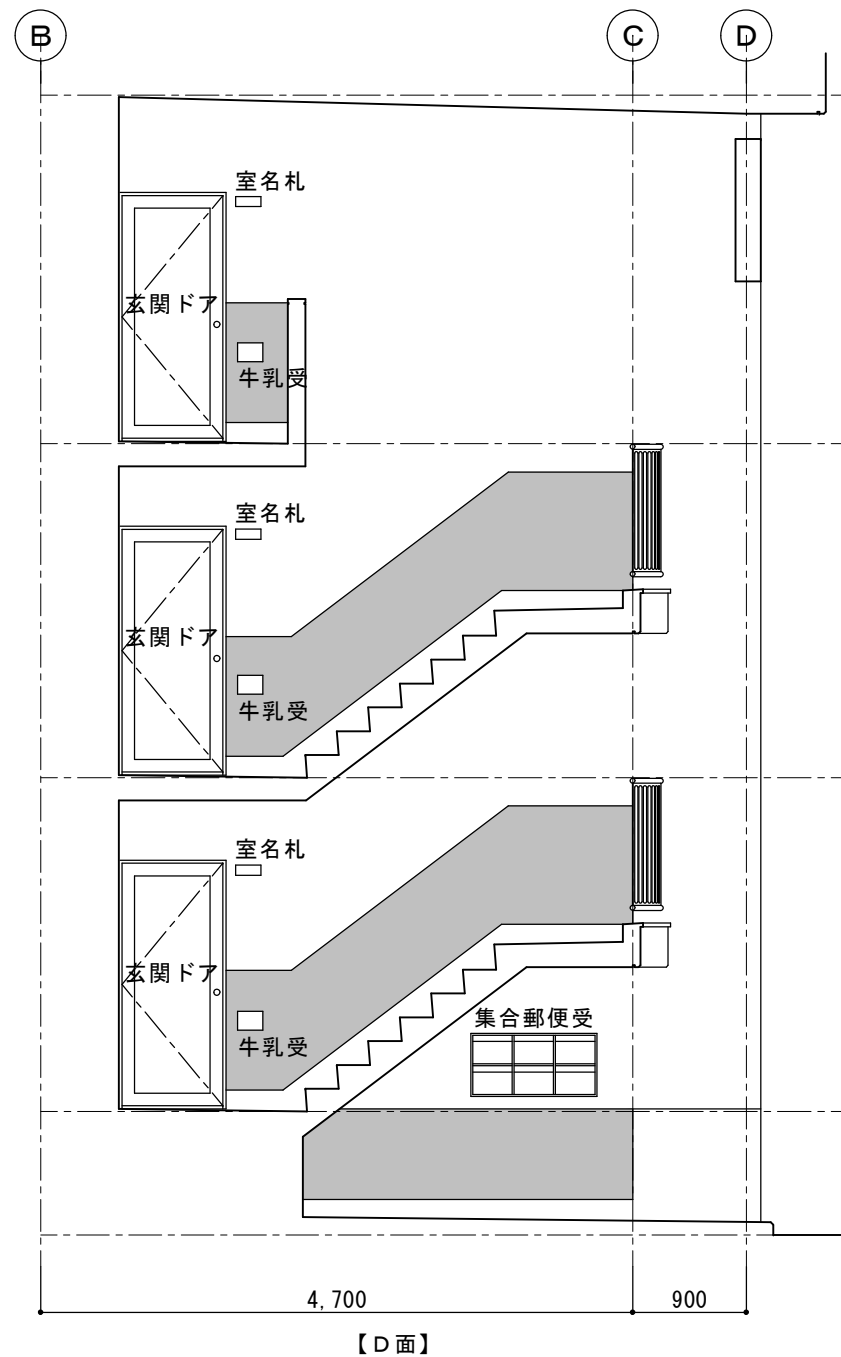
【B面】



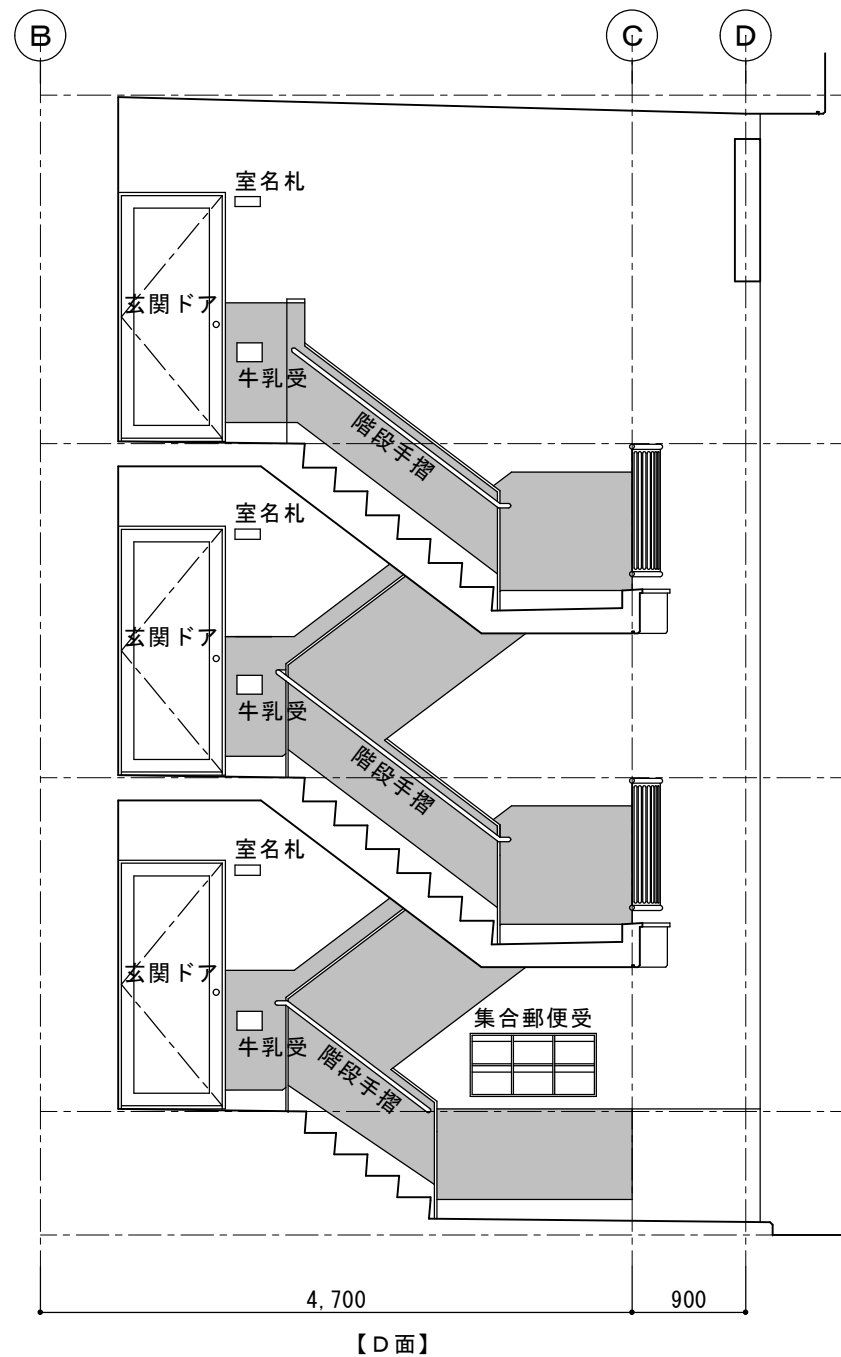
【B面】



【C面】



【D面】

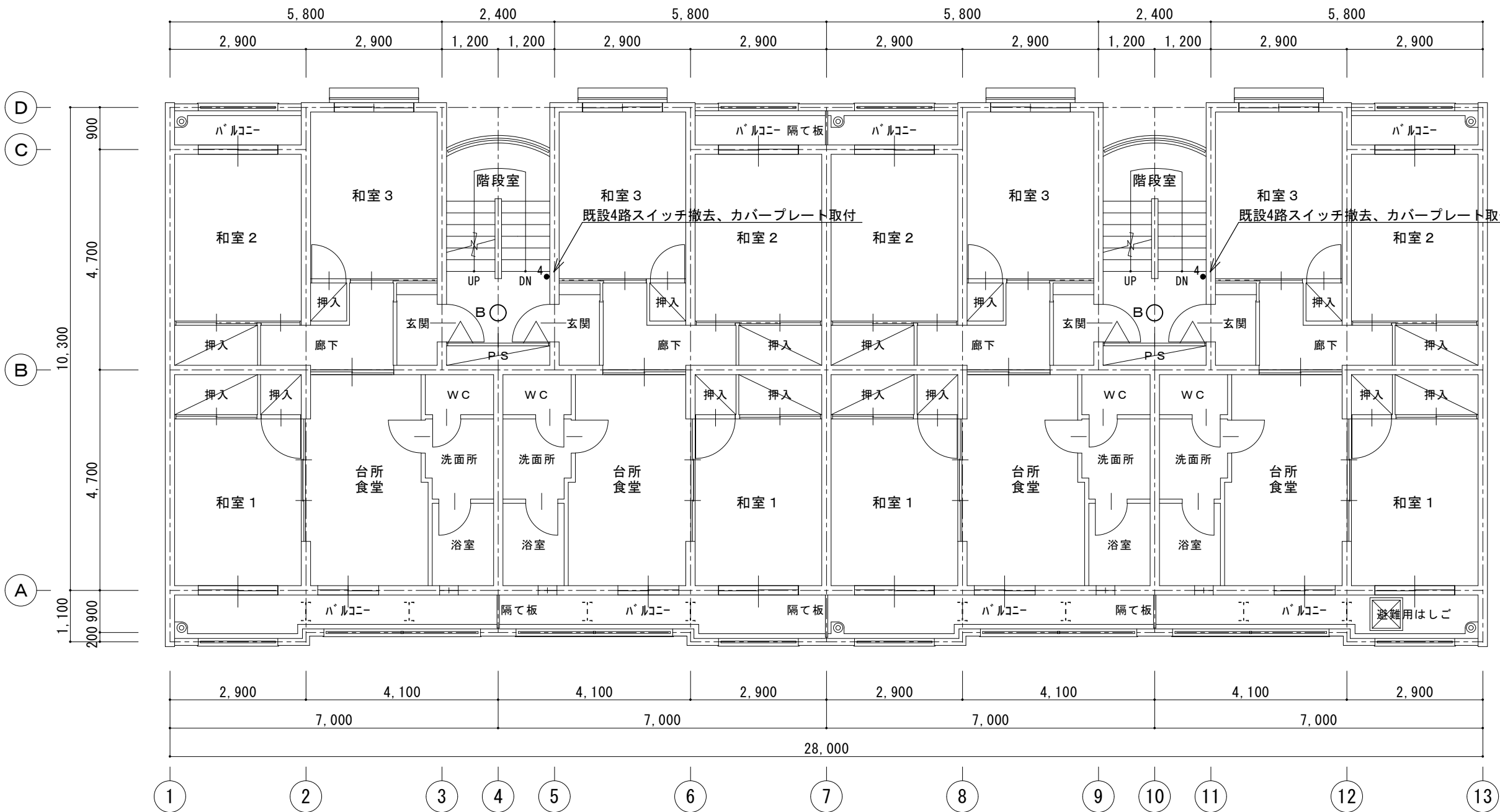


【D面】

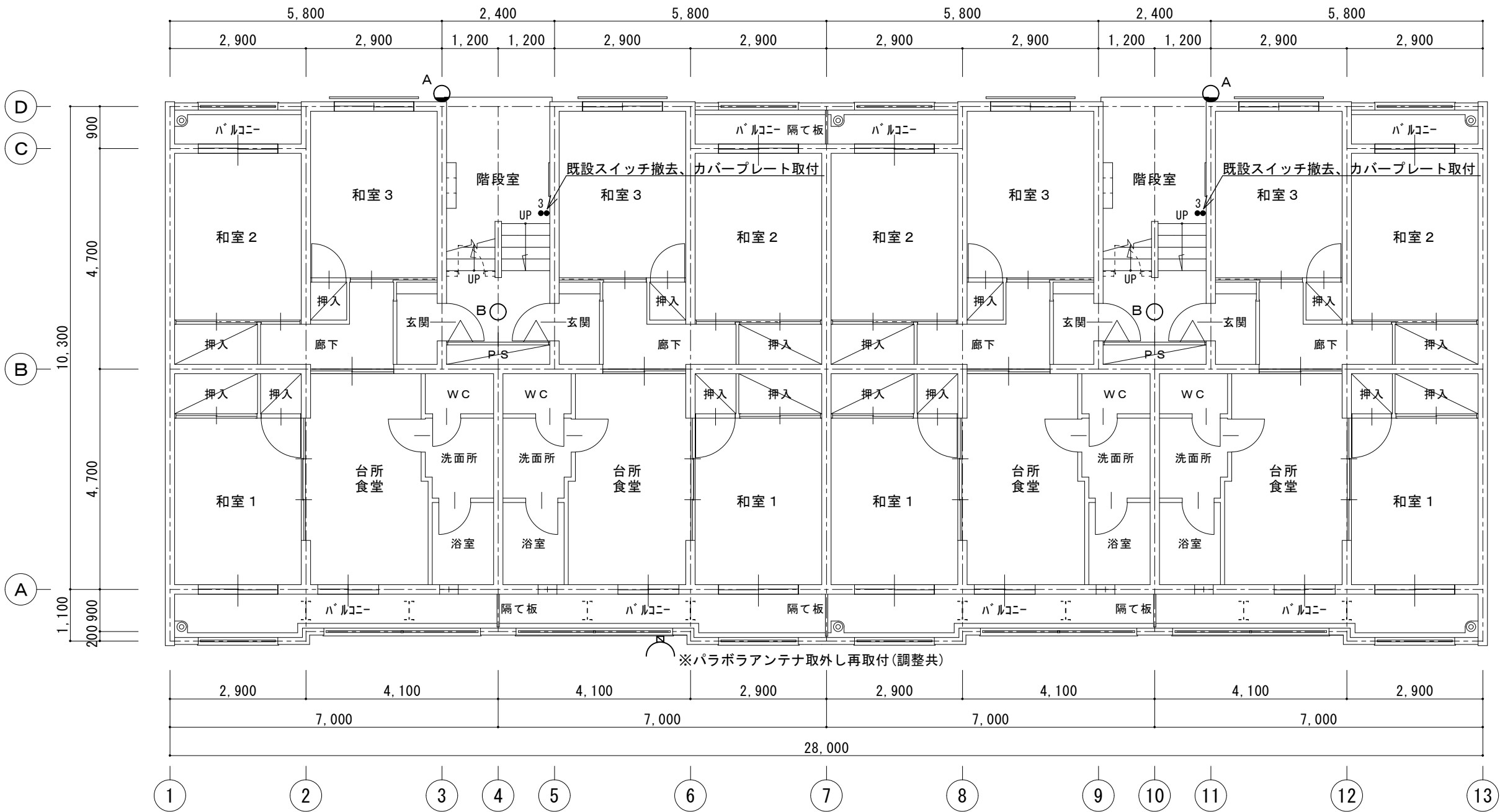
階段室各部仕上

| | |
|------------------|---|
| 床・巾木 | デッキブラシ水洗浄 |
| 腰壁・手摺壁 | 高圧水洗浄・下地調整の上、NAD塗装 |
| 外壁 | 高圧水洗浄の上、水性カチオンシーラー透明＋セラミック変性シリコン系単層弾性仕上げ材 |
| 手摺壁笠木 | デッキブラシ水洗浄 |
| 天井 | 高圧水洗浄の上、水性シーラー＋アクリル系リシン吹付 |
| 踊り場手摺 | 下地調整の上、1液反応硬化形ウレタン樹脂塗装 |
| 階段手摺 | クリーニング |
| 玄関ドア・PS点検扉 | 下地調整の上、1液反応硬化形ウレタン樹脂塗装 |
| 室名札 | クリーニング |
| 牛乳受 | クリーニング |
| 集合郵便受 | クリーニング |
| 掲示板 W=720, H=410 | 掲示クロス張替え、クリーニング |

| | | | | | | | | | | | | |
|--|------------------------|--|------------------------|--|----------------------|--|--|--------------|--|--|--|--|
| テレビ共聴アンテナ支持台 S=1:30 | | アンテナ支線受け台 S=1:30 | | 丸環取付基礎 S=1:30 | | 高架水槽用基礎 S=1:30 | | | | | | |
| <p>架台部：高圧水洗浄・下地調整の上 ウレタン系樹脂塗膜防水(X-2)</p> <p>屋根：高圧水洗浄の上 断熱材スタイロフォーム3種bA t=25mm敷込 加工共 塩ビ樹脂系シート防水 t=1.5mm 機械固定工法(S1-M2) 脱気装置付</p> | | <p>架台部：高圧水洗浄・下地調整の上 ウレタン系樹脂塗膜防水(X-2)</p> <p>屋根：高圧水洗浄の上 断熱材スタイロフォーム3種bA t=25mm敷込 加工共 塩ビ樹脂系シート防水 t=1.5mm 機械固定工法(S1-M2) 脱気装置付</p> | | <p>架台部：高圧水洗浄・下地調整の上 ウレタン系樹脂塗膜防水(X-2)</p> <p>屋根：高圧水洗浄の上 断熱材スタイロフォーム3種bA t=25mm敷込 加工共 塩ビ樹脂系シート防水 t=1.5mm 機械固定工法(S1-M2) 脱気装置付</p> | | <p>架台部：高圧水洗浄・下地調整の上 ウレタン系樹脂塗膜防水(X-2)</p> <p>屋根：高圧水洗浄の上 断熱材スタイロフォーム3種bA t=25mm敷込 加工共 塩ビ樹脂系シート防水 t=1.5mm 機械固定工法(S1-M2) 脱気装置付</p> | | | | | | |
| 配管立ち上げ用ハトコヤ S=1:30 | | 給水配管、配管支持コンクリートブロック S=1:30 | | 設備配管用通気管廻り S=1:20 | | 改修ドレイン S=1:20 | | | | | | |
| <p>架台部：高圧水洗浄・下地調整の上 ウレタン系樹脂塗膜防水(X-2)</p> <p>屋根：高圧水洗浄の上 断熱材スタイロフォーム3種bA t=25mm敷込 加工共 塩ビ樹脂系シート防水 t=1.5mm 機械固定工法(S1-M2) 脱気装置付</p> | | <p>架台部：高圧水洗浄・下地調整の上 ウレタン系樹脂塗膜防水(X-2)</p> <p>屋根：高圧水洗浄の上 断熱材スタイロフォーム3種bA t=25mm敷込 加工共 塩ビ樹脂系シート防水 t=1.5mm 機械固定工法(S1-M2) 脱気装置付</p> | | <p>既存撤去の上、GRC製通気管カバー新設 防水押バンド巻(SUS) シーリング共</p> <p>屋根：高圧水洗浄の上 断熱材スタイロフォーム3種bA t=25mm敷込 加工共 塩ビ樹脂系シート防水 t=1.5mm 機械固定工法(S1-M2) 脱気装置付</p> | | <p>ルーフドレイン：既設ドレン撤去 改修用ドレン新設 塩ビ製 φ75用(縦型)</p> <p>屋根：高圧水洗浄の上 断熱材スタイロフォーム3種bA t=25mm敷込 加工共 塩ビ樹脂系シート防水 t=1.5mm 機械固定工法(S1-M2) 脱気装置付</p> <p>既存竖樋：硬質塩化ビニール管 φ75</p> | | | | | | |
| 鋼製手摺 S=1:50 | | | | | | | | | | | | |
| 場所・数量 | 1 ST 台所食堂・12ヶ所 | 2 ST 和室1、2・23ヶ所 | 3 ST 和室3・12ヶ所 | 4 ST 階段室・4ヶ所 | | | | | | | | |
| 姿図 | | | | | | | | | | | | |
| 改修内容 | 下地調整の上、1液反応硬化形ウレタン樹脂塗装 | 下地調整の上、1液反応硬化形ウレタン樹脂塗装 | 下地調整の上、1液反応硬化形ウレタン樹脂塗装 | 下地調整の上、1液反応硬化形ウレタン樹脂塗装 | | | | | | | | |
| 記事 | | | | | 年月日 | 工事名称 柳西団地外壁・屋根改修工事 | | 図面番号 A-12 | | | | |
| | | | | | 縮尺 S=1:30, 20, 50 | 図面名 部分詳細図 | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |



2 階平面図 S=1:100



1 階平面図 S=1:100

| | | | |
|---|----------------------|-------|--------|
| A | LEDウォールライト 20形 | | |
| | 1390LM | 3000K | 段調光タイプ |
| パナソニック NNFS21872CLE9 | | | |
| | | | |
| 防雨型、ひと（熱線）センサ・E Eセンサ付（約30～100%段調光） 本体：ステンレス、カバー：ポリカーボネート（乳白） | | | |
| B | シーリングライト 60形電球1灯器具相当 | | |
| | 500LM | 2700K | 段調光タイプ |
| パナソニック LGWC51553LE1 | | | |
| | | | |
| 防雨型、点灯照度調整機能付、段調光省エネ型（約20～100%段調光） カバー：プラスチック（ブラチナメタリック） | | | |

| |
|-------------------------------|
| ※工事概要 |
| 照明器具は既設器具撤去、新設とする。 |
| 階段スイッチは撤去とし、カバープレート取付とする。 |
| 屋上テレビアンテナマストの支線を更新する。 |
| 屋上テレビアンテナのエントランスキャップを取替える。 |
| ベランダに設置のパラボラアンテナ2個の取外し再取付を行う。 |
| |
| |
| |
| |
| |
| |

| | | | | | | | | |
|----|--|--|--|--|--|---------------|----------------------|------|
| 記事 | | | | | | 年月日 | 工事名称 | 図面番号 |
| | | | | | | | 柳西団地外壁・屋根改修工事 | |
| | | | | | | 縮尺 S=1:100 | 図面名 電気設備 1・2 階平面図 | E-02 |



| | | | | | | | | | | |
|----------------|---------------|--|--|--|--|--|--|----------------|------|-----------------------|
| 記 事 | | | | | | | | 年月日 | 工事名称 | 図面番号 E-03 ／ |
| | | | | | | | | 柳西団地外壁・屋根改修工事 | | |
| | 縮 尺 | | | | | | | 図面名 | | |
| | S = 1 : 1 0 0 | | | | | | | 電気設備3階平面図・屋根伏図 | | |